

みんなつインフォメーション

社団法人日本民営鉄道協会

第87回定時総会を開催

日本民営鉄道協会は、平成21年5月29日(金)に、東京都千代田区の経団連会館において、『第87回定時総会』を開催、総会決議を採択するとともに、役員を選任しました。



第87回定時総会では、平成20年の事業報告及び収支決算、平成21年度の事業計画及び収支予算並びに会費について承認した後、総会決議を審議し、採択しました。また、役員を選任では、新会長に上條清文東京急行電鉄会長を選任しました。

——決議項目——

1. 安全・安心対策の推進
2. 民鉄関係予算等助成制度の拡充および民鉄関係税制の改善
3. 環境対策の一層の推進
4. バリアフリー化等鉄道サービスの更なる向上
5. 鉄道整備の円滑化および鉄道とまちづくりの連携施策の推進
6. 地方民鉄再生・活性化の推進

——新役員——

会長	上條 清文	東京急行電鉄会長 (新任)	副会長	明松 亮一	神戸電鉄会長 (再任)
副会長	石渡 恒夫	京浜急行電鉄社長 (新任)	副会長	桑名 博勝	富山地方鉄道社長 (再任)
副会長	木下 栄一郎	名古屋鉄道社長 (再任)	副会長	大田 哲哉	広島電鉄社長 (再任)
副会長	坂井 信也	阪神電気鉄道社長 (新任)	(役職については5月29日現在)		

安全輸送を確保し 環境負荷の低い社会づくりに貢献



社団法人 日本民営鉄道協会 会長

かみ じょう きよ ふみ

上條 清文

(東京急行電鉄株式会社 会長)

本日の総会におきまして、日本民営鉄道協会の会長に選任されました東急電鉄の上條でございます。今後二年間、民営鉄道業界の発展のため、会長としての職責を全うする所存でございますので、どうかよろしくお願いいたします。

民営鉄道の輸送実績は、近年ようやく全体として向上きに転じたところでしたが、昨年来の急激な景気後退に伴い、需要の伸びが鈍化するなどの影響が出始めているところでもあります。さらに人口減少や高齢化が進行していることを考慮しますと、今後の輸送動向は樂觀できないものとなっております。

鉄道事業者におきましては、安全輸送の確保が最大の使命であります。日々の列車運行の安全確保に万全を期することはもとより、技術基準の見直しに伴う安全施設・設備の整備を着実に進めるとともに、鉄道事業法に基づく全社的な運輸安全マネジメント制度の定着等を通じて、安全性の一層の向上に努めて参りたいと存じます。

輸送サービスの向上につきましては、通勤・通学の利用客をはじめ、高齢者、幼児、また日本を訪れた外国人にも、快適で便利な鉄道であるよう、混雑路線の輸送力対策、乗り継ぎ利便性の向上、駅施設のバリアフリー化など様々な取り組みを引き続き進めていく所存であります。

地球温暖化対策も、大きなテーマとなります。年末には、ポスト京都議定書問題について合意を目指す国際会議が予定されていますが、鉄道は旅客一人当たりの二酸化炭素排出量が小さい、「環境にやさしい」交通機関であります。事業者自ら省エネ車両の導入等の対策を推進するとともに、鉄道の利用促進を通じて、経済社会の活力を損なうことなく、環境負荷の低い社会づくりに貢献して参りたいと存じます。

さて、地方の中小民鉄は、おしなべて厳しい経営状態が続いています。事業者の経営努力はもちろんですが、地域の皆様のご理解のもと、国や地方公共団体の支援制度を活用しながら、事業再建や利用促進に努めていくことが何よりも重要であり、協会としても可能な限りの応援をしていきたいと考えております。

私ども民営鉄道を取り巻く情勢は決して樂觀できるものではありませんが、事業者として経営上の諸課題に着実に対応していくとともに、業界全体として、利用者や地域社会の期待に応え、公共的な使命を果たして参りたいと存じますので、報道各社の皆様方には、一層のご理解、ご支援をお願いいたしまして、就任の挨拶いたします。

(総会後の記者会見より)